

# 学校だより 月報

## 1月号

出雲農林高校  
PTA

### 異文化交流を通して 国際貢献旅行

十二月七日～十四日にかけてウズベキスタン共和国に訪問した。参加生徒は、  
嘉藤洋志くん(環境科学科三年)  
川角奈央さん(食品科学科三年)  
野田聡美さん(食品科学科二年)  
福岡美彩希さん(食品科学科二年)  
の四名。  
異文化交流の中で多くのものを感じ取ったようです。

### プロジェクト発表

農業カレッジとの交流の目玉でもあったのが、学校で取り組んでいるプロジェクト学習の紹介でした。



パネルを使った発表。  
現地でもプロジェクト学習を取り入れたいと高い評価を受けました。

言葉が簡単には通じない環境の中、紙芝居を取り入れるなど工夫を凝らし発表しました。

スベク語を勉強して自分で発表できれば良かったです。

異文化に触れて  
4名とも外国は初めて。現地の人達とのふれあいで多くのものを感じ取ったようです。

野田さん  
人の温かみを感じた  
たくさんの出合いがありました。サマルカンド空港で約三時間待機させられたとき、男の人に声をかけられ、携帯電話とイヤホンを貸してくれました。眠たそうにしていた私に気を遣い音楽を聞かせてくれたのです。とてもうれしかったです。

嘉藤くん  
満点です  
私はこの栽培のことを紙芝居形式で発表しました。専門的なことを言ったので通訳の人は少し困っているようでした。最後に現地の校長先生がいろいろと質問してきました。最後には満点です」と言われました。

倉間さん  
現地語で発表をできれば  
生徒の前で発表するのから思っていました。ウズベキスタンの文部科学省の人の前で発表しました。難しいことをやっているね」と言われました。ウズベキスタンの人はプロジェクト学習に取り組んでいないそう。ぜひ取り入れたいと言っておられました。できれば、自分でロシア語やウ



サマルカンド農業カレッジでの記念撮影

倉間さん  
コミュニケーションの大切さ  
言葉が分からず、相手の人はどんなことを考えているんだろう、そんな不安ばかりでした。どう伝えたらいいか、こんなに考えたことはありませんでした。ですが、伝わったときは心が通じ合った気がしてとてもうれしかったです。

研修報告  
上川 満久先生  
プムラ農業カレッジを訪問すると、農場では畑が掘り起こされ、トマトやジャガイモ、綿花等が栽培されていました。約一億円の施設・設備を整えたワイン製造棟では、白衣を着た生徒がワインの瓶詰実習を行っており、実習で製造したワインはプムラのレストランでも販売されています。  
サマルカンド農業カレッジへの訪問では、教員と実習服姿の生徒が整列して出迎えてくれ、民族衣装姿の生徒たちに踊りで歓迎してもらいとても感動しました。



それぞれの農業カレッジで本校の生徒がパネルを使いながらプロジェクト研究の発表をしたところ、校長先生から「サマルカンドにも柿が多くあり、生徒の発表には大変参考にまりました」などと述べられ、生徒たちに笑顔が見られました。  
この研修を通じて、生徒は積極的に「コミュニケーション」をとり、発表では相手に分かりやすく自信を持って行いました。私は農業カレッジとの相互理解を更に深める必要性を痛感し、貴重な研修をさせて頂きました。

### 言葉が心を動かす、心が体を動かす

学校長 佐野 明

『小学校の帰りに友達とかわいがってたポチという犬がいた。ある日、友がポチをなでながら「ポチちゃん好きよ」と笑顔で言った。ポチは友の顔をべるべるなめた。喜んだ友は、二度三度くり返した。調子に乗った友が同じ笑顔で「ポチちゃん嫌いよ」と言った。その瞬間、穏やかだったポチが牙をむきだし顔にかみついた。本心でなくとも「嫌い」という言葉を吐く時、悪意が表情の奥に宿るのだろうか。』と、石津昌嗣さんが書いています。

私も激しい言葉を吐いた時には、口から炎が出るように感じることはありませんが、「言葉が心を動かす」ことがあるようです。

暑いアラブで試合をしたあるサッカー選手は、「負ければ、ワールドカップは絶望的だ。絶対走り勝ち」と誓って競技したといいます。結果、アラブ圏の選手に走り勝ち、試合も勝ったそうです。彼は、恩師に「心が体を動かす」という言葉をもらっていたので、終始強気を失わないうでゲームをしたそうです。

「病は気から」という言葉もありますが、弱った心は弱るよう体に動かすようです。「言葉が心を動かす、心が体を動かす」ことがあるので、言葉はいいねいに使うよう心掛けたいものです。

## 新年にあたって

一年 保護者 古田 昌樹

平成十九年一月、誰もが期待を持って新しい年を迎えられたことでしょう。

「一年の計は元日にあり」と言いますが、何事にもまず目標を立て取り組むことが大事です。

一年の抱負・目標を立てた子供達がどれだけいるでしょうか？

大きな目標ではなく、自分に合った小さな目標でもそれを達成することが大切であると思います。

自分の目標に向かって頑張り努力すること、又つまずいた時に迷い解決することにより、自分自身がより大きくなっていくことでしょう。



子供達だけではなく、私達大人も目標を持ち一年のスタートをしてみたいかがでしょうか。

野球部は、餅をつき、今年の目標・抱負を一人ひとりが述べたそうです。

## 校外で行った

プロジェクト発表  
動物科学科 三年 藤原 務

僕たち動物科学科は、初めて校外でプロジェクト発表を行いました。初め先生から「今年のプロジェクトはビックハートでやるから」と聞かされたときはさすがに「いや、無理でしょ」と思いました。ビックハートのホールの広さは教室の五倍強あって、当日には動物科の生徒や先生方はもちろん、一般の保護者の方も見られると聞き、三年最後のプロジェクト発表はとても不安でした。当日、とても緊張し、練習で出来ていた事が、本番では成功できなくて残念でした。

ただ、僕はとても良い経験が出来たと思います。プロジェクトをするにあたって、僕達三年生は約二年間、データを集める為に放課後や休みの日など自らおもむき、多くの時間

を費やしてきました。だから、僕にとってプロジェクト発表というのは、三年間学んできた事すべてを出し切る最後の発表だと考えています。その発表を、広く、充実した施設で行えた事で、より良いプロジェクト発表が行えたと思います。こういった体験はとても貴重だと思うので、今後も、是非校外発表を行ってもらいたいと思います。



## 工夫することの大切さ

「チャレンジショップの取り組み」  
スタンプカード

三年生から受け継いだチャレンジショップの運営は、学校設定科目である「起業実践」の授業などを通して二年生が意欲的に取り組んでいます。

今年度からの新しい試みとして、スタンプカード制度が取り入れられています。これは、お客様に喜んでもらいリピターを増やす目的で動物科学科二年生から提案されました。

三〇〇円の買い物で一個のスタンプが押され、三〇個たまったらお客様に景品を出す制度です。校内で収穫加工された物を集め、販売する」といつれまでの運営に加え、景品出すためのお金をどうやって算出するのかという課題が生じています。この課題を解決するために、様々な工夫がおこなわれています。

植物科学科のボン菓子、環境科学科の焼き芋、動物科学科の本校で生産された卵を用いた洋菓子などがこれまで取り組まれてきました。以下に食品科学科の手作りこんにやくの取り組みを紹介いたします。



最近、「だんだん村」のポスターが市内でも見られます。

## より多くの人に

来店してもらいたくて

食品科学科 二年 大田由貴

最近のチャレンジショップでは、スタンプカード制度が導入されています。スタンプカードに賛成した時は、簡単な気持ちでいきましたが、実際にやってみると何を売って利益を得るのかという問題が出てきました。この時、スタンプカードというのはどれだけ大変か実感しました。しかし、お客様に喜んでもらうため、これからはより多くの人に来店してもらおうためにスタンプカードは必要だと思いました。

私達の班は、話し合った結果、手作りこんにやくを作ることにしました。自分達で作ったものを売るというのは、簡単なことではなく自分達でラベルを作り、袋詰めをしなければなりません。私は、初めて食品のラベルを作りました。いもは、先生方が作っておられるので、苦戦しながら作成しました。そして、なるべく同じ重さになるように一つ一つ手作業で袋に詰め、ラベルを貼りました。そして、こんにやくが売れるようにこんにやくの調理法を書いた紙を作り、試食も出来るように工夫しました。

そして当日、多くの人にこんにやくを購入していただき、完売することができました。景品のスマートフォン代も補うことが出来ました。スタンプカードを始めて、大変な事は多くありましたが、その分学ぶこともありました。商品を作って売るまでの過程を体験することは、貴重なことだと思いました。そして、お客様の立場になって考え、工夫することの大切さを知りました。スタンプカードを始めたことで、また一つ起業家精神を高められ、本当に良かったと思います。

## 編集後記

チャレンジショップ周辺に、「だんだん村」とデザインされたタイルが敷かれています。これは、環境科学科三年生の三名がプロジェクト学習の取り組みとして完成させました。生徒の手で様々な工夫が重ねられています。多くの人に利用されることを願っています。



## 2月の行事予定

日	曜	項	目
1	木	卒業	卒業考査、職業講話(1年)
2	金	卒業	卒業考査、推薦合格者事前指導
3	土	チャ	レンジショップ開店
4	日	中国	高校生受入れ(~18日)
5	月	卒業	考査
6	火	卒業	考査
7	水	和菓	子実習(2年食品) チャレンジショップ開店
8	木		
9	金	予	餞会、SC来校、生徒と語る会
10	土	チャ	レンジショップ開店
11	日	建	国記念日
12	月	代	休
13	火	職	場見学(1年)
14	水	健	康教育、卒業記念植樹(3年) 蕎麦打ち実習(2年食品) チャレンジショップ開店
15	木	学	校保健委員会、衛生委員会
16	金	職	員会議(卒業認定)
17	土	数	学検定、チャレンジショップ開店
18	日	第	4回PTA評議員会 第3回学校評議員会
19	月		
20	火		
21	水		
22	木	学	年未考査
23	金	学	年未考査、追認考査
24	土		
25	日		
26	月	学	年未考査、職員会議(追認)
27	火	学	年未考査
28	水	卒	業式予行

この月報はwww.shimanel.ed.jp/izuno/でも見られます